

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 91114 単位数 : 2

科目名	社会科教育法B (地歴含)	科目責任者	仁尾 泰明
課題と試験担当教員			
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CTETC261		

■ 科目概要

中学校社会科教育の実践にあたって必要な授業理論・授業実践を学ぶとともに、学習指導案の基本的構造を理解し、学習指導案作成の力量を身に付けます。そして、授業づくりの実際を学び、それらを検討することによって、授業の実践能力の基礎を養います。

■ 到達目標

1. 中学校社会科教育の目標、内容、内容構成、内容の取扱いについて理解します。
2. 社会科授業における学習指導案の構成を理解し、学習指導案を正しく作成することができます。
3. 中学校社会科の授業実践を行うための力量を身に付けます。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
『中学校学習指導要領解説社会編』 第1章総説 1 2 (1) (2) (3)	改訂の経緯 社会科改訂の趣旨 基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得 言語活動の充実 社会参画、伝統や文化、宗教に関する学習の充実
3 (1) (2)	社会科改訂の要点 教科の改訂の要点 各分野の改訂の要点
第2章社会科の目標及び内容 ●第1節 ●第2節 1	教科の目標 各分野の目標及び内容 〔地理的分野〕 目標
2 (1)	内容 世界の様々な地域
(2) 3	日本の様々な地域 内容の取扱い
1 2 (1) (2)	〔歴史的分野〕 目標 内容 歴史のとらえ方 古代までの日本
(3) (4) (5)	中世の日本 近世の日本 近代の日本と世界

学習範囲 該当する章など	学習内容
(6) 3	現代の日本と世界 内容の取扱い
『社会科教育の創造』 第2部授業づくりの方法 第2章各分野の学習指導の展開 第1節 1 2 3 4	社会科学学習指導の基盤 社会科の教科的特性と教師の専門性 社会科の構造 社会科学学習の条件 授業計画の前に
第2節 1 2 3 4	地理的内容の学習 地理学習の基本構想 系統地理的な単元の学習 地誌的な単元の学習 授業の計画と展開
第3節 1 2 3 4 5 6	歴史的内容の学習指導 歴史学習の基本構想 日本史の学習 歴史学習における「時代」の扱い 外国史・世界史の学習 文化史の学習 授業の計画と展開
第3章指導計画と学習指導案 第1節 1 2 3 4 5	年間指導計画と単元指導計画 指導計画の意義 指導計画の種類と構造 社会科の指導計画における小学校・中学校の相違 年間指導計画 単元指導計画
第2節 1 2 3 4 5 6	学習指導案の作成 学習指導案の意義 学習指導案の構成 コンピュータによる学習指導案の作成 学習指導案の動作主 「具体的」に書くということ 付属文書の作成
第3部授業づくりの実践 第4節 第5節	中学校地理的分野単元名「自然環境」（単元の概要、授業づくりの視点、指導計画、授業の工夫、ワークシートなど） 中学校歴史的分野単元名「黒船の衝撃」（単元の概要、授業づくりの視点、本授業において留意すべき事項、指導計画、授業の流れと資料の扱いなど）

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	まず、教科書で試験範囲を正しく把握します。それを踏まえて、試験範囲の内容をよく理解しながら、熟読して下さい。しかも試験範囲のどこから出題されても解答できるように、試験範囲をしっかりと読みましょう。決して山をかけないように。試験勉強を通して、教師になるために必要な知識と技能を確実に身に付けるのだという気持ちで臨むとよいです。 教科書の内容について、その理解と習得を問います。

種別	評価基準
レポート	<p>レポートを作成する際に最も大切なことは、与えられた課題の題意をしっかり把握することです。課題が何を求めているのか、正しく認識し、それに対応した論理構成でレポートを組み立てていきます。なかには、これが不十分のいわゆる「的外れのレポート」が時々見受けられます。</p> <p>次に、大切なことは、自分の言葉で綴るといことです。教科書の該当する箇所をそのまま丸写しにしたものや、教科書や参考書の文章を切り貼りした継ぎはぎのものがありますが、いくら課題の題意を把握していても、レポートの価値はなくなってしまいます。平易な表現でもよいですから、内容をしっかり理解して自分なりの表現や言葉づかいでまとめて下さい。</p> <p>さらに、大切なことは下書きの段階で十分推敲を行うことです。下書きをよく読み、レポートを何回もチェックしましょう。推敲を何度も行うことによって、レポートを書くことに慣れ、また、レポートの完成度が高くなります。推敲の時間も十分取るように心掛けましょう。</p>

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■ 教科書

書名：社会科教育の創造—基礎・理論・実践—
著者名：宮崎猛
出版社名：教育出版
出版年：2009.4
版：
刷：
ISBN：978-4-316-80261-9

■ 参考書

1. 『中学校学習指導要領解説社会編』日本文教出版 2008年 175円（これはもう一つの教科書として使いますので、「文部科学省学習指導要領解説」からダウンロードして下さい）
2. 『中学校新学習指導要領の展開 社会科編』明治図書 2008年 1700円
3. 『中学校新教育課程 社会科の指導計画作成と授業づくり』明治図書 2009年 1700円
4. 『思考力・判断力・表現力をつける社会科授業デザイン 中学校編』明治図書 2009年 1700円
5. 『中学校社会科新教材授業設計プラン』明治図書 2009年 1900円
6. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学地理モデル』明治図書 2011年 1600円
7. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学歴史モデル』明治図書 2011年 1600円
8. 『「思考力・判断力・表現力」をつける中学公民モデル』明治図書 2011年 1600円
9. 『言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】』教育出版 2012年 560円
10. 『評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 社会】』教育出版 2011年 400円

■ 履修上のアドバイス

教科書を丁寧に読み、わからない語句や用語がないように辞書などでよく調べ、その上で内容全体も正確に把握して下さい。大切なことは、通読のレベルにとどまらず精読することです。

■ 自習時間

個人差がありますが、レポート1課題あたりの作成に20時間程度、科目試験の勉強に40時間程度が考えられます。

■ 担当者のプロフィール

1949年に北海道函館市生まれ、神奈川県横浜市で育つ。
関心を持つ分野は「地理学」「地理教育」「社会科教育」
好きな言葉は「使命を自覚するとき、才能の芽は急速に伸びる」